



江別のみなさん、こんにちは。
5月です。もうすっかり春ですね。
暖かくなり、色とりどりの花が咲き始めました。
庭仕事に精を出す方や、ウォーキングを楽しまれる方等
が多くなってきました。
腰痛、怪我などに十分気を付けて、
心身共にリフレッシュして行きましょう!!。



代表取締役社長 石崎 昭仁

次世代住宅ポイントの内容について!!

今回の次世代住宅ポイントについて、前回と違うところは商品券、工事費への充当ができないところ
です。では今回の住宅ポイントで、何と交換できるのでしょうか?
現在公表されているカテゴリーは・・・下記の通りです。(2019年3月31日現在)

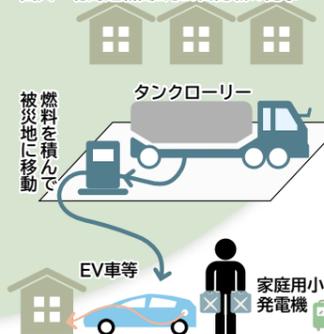
- 省エネ・環境配慮に優れた商品
- 健康関連商品
- 子育て関連商品
- 防災関連商品
- 家事負担軽減に資する商品
- 地域振興に資する商品

現段階(3月31日)では内容について詳細の公開はされていません。予算の関係なのでしょうね!
個人的に興味があるのは・・・やはり防災関連商品と家事負担軽減、省エネ・環境配慮に優れた商品と
言うところでしょうか?。若い世代の方ですと子育て関連商品、家事負担軽減などに興味があるの
では?と思います。商品の発表が楽しみです。 個人的に勝手に想像してみました。



防災ハウスについて!!

出典：北海道新聞2月20日記載の記事



胆振 東部地震の際、北海道は停電に見舞われました。このような事
が二度と起きない事を願っていますが、一応停電の際の対策
を考える必要があると思います。9月の地震では燃料の供給も止まり、大
きな問題となりました。新聞によると今後国は、被災地に燃料を供給す
る等の対策を検討している様です。私たちはこの先
EV車、発電機等の設備を用意する事で被害を最小
限にする事が可能となります。費用など
いろいろ大きな問題はあるかと思いま
すが、一度検討する価値があります。



良質な住宅の取得に関する支援制度の活用2!

前号では、相続など近親者からの住宅建設資金の支援制度について少し記載しました。

ZEH (ゼッチ)	
ZEH化等による 低炭素化促進事業 環境省	地域型住宅 グリーン化事業 国土交通省
注文・建売住宅における ZEH	中小工務店などによる 木造住宅の ZEH
強化外皮基準 省エネ基準から▲20%以上	
寒冷、低日射、多雪地域においては Nearly ZEH (省エネ基準から▲ 75%以上)での申請も可能	-
都市部狭小地においては、ZEH Oriented (再生可能エネルギー を加味しない)での申請も可能	-
-	中小住宅生産者、原木供給、 建材流通などの 関連事業者からなる グループで応募
補助額 定額 70万円/戸	ZEH 補助額上限 140万円/戸
注) 補助金については予算確定後変動する場合があります。	

今回はZEH(ゼッチ)と言う、断熱性能を大きく
向上させた住まいに対して補助金の制度があり
ます。左の表をご覧ください。

太陽光などを積極的に取り入れた創エネ住宅と、
地域の材料を採用し、長期に渡り住まい続ける事
ができる長期優良住宅を基準としたグリーン化
住宅に対して補助金が用意されています。
ZEHによる低炭素化について、北海道は日射量
の関係でNearly ZEHという75%以上の削減率
も認められています。

弊社モデルプランで、断熱はHEAT20 G1という
グレードまで上げ、太陽光発電(6.75KW)と組合
わせ、消費エネルギーの75%削減を可能としま
した。ZEH(ゼッチ)はかなりレベルが高い省エ
ネ基準です。レベルが高いとは言え不可能で
はありません。ただどうしても質の高い商品を使
いますので、コストは少しお高めになります。そ
こで補助金を活用し創エネ制度を有効に活用す
る事をオススメ致します。

ZEH住宅は単に断熱を良くしただけではなく、次世代住宅ポイントの採用項目とも一致する部分
があります。例えば、お湯の冷めづらいユニットバスはお湯を沸かし直す回数も少なくなり、結果的
に省エネになるという考えです。水一つ取っても、飲み水を作るにも色々なエネルギーを使ってい
るわけです。今後の住まい作りは、総合的に見たエネルギーの削減ができる住まいが必要です。住
まい給付金、ZEH化等による低炭素化促進事業などをうまく活用し生涯コストの削減ができる住
まい作りをご提案致します。(生涯コストとは一生のうちに住宅に掛かるコスト(ランニングコストを含む)の事を言います。)

新築住宅をご検討の方は、今回の制度を上手にご活用される事をお勧め致します。

まだまだ寒い朝晩、ヒートショックには気をつけよう!

温度差には、十分気をつけましょう!!

お風呂場の室温と脱衣場の室温、そしてお湯の温度。
この温度差に十分注意が必要です。また、42℃以上のお湯
に急につかると血圧が急上昇し、色々な症状が現れます。
くれぐれも急の付く動作には注意が必要です。まずは脱衣場
の室温とお風呂場の室温を上げ、ヒヤッとした温度設定に
する必要があります。まだまだ朝晩は冷え込む季節、室温と
浴室の温度差には注意が必要です。

